

堀内議員 通告どおり、3点質問させていただきます。海部病院移転に続き、庁舎移転も本格的な議論が開始されています。もちろん庁舎移転先が決定したわけではありませんが、主要施設が街の中心部から離れる可能性が出てきたため、町民の方からも不安の声を多く聞きます。特に移動距離を問題視した意見が多く見られ、高齢化が進む中、交通弱者への対応策が求められていると感じます。仮に庁舎が現在の場所にあり続けたとしても、高齢化が進めば同様の問題が起こることが予測されます。来庁者のニーズにおいて、証明書関係の取得が多い場合には、自動交付端末の周知や設置が必要かも知れません。内容によっては、来庁せずに電話での問い合わせが増える可能性もあります。その場合は、事務処理などの業務効率化を行わなければ職員の仕事量が増え、住民サービスの低下も懸念されます。そこで、以下3点質問させていただきます。自動交付端末の設置場所や使用方法の説明は十分に行われているか。ペーパーレス化による行政事務の効率化の予定は。牟岐町高齢者タクシー利用助成事業の継続は可能か。以上、答弁よろしく申し上げます。

枅富議長 福井町長。

福井町長 順序が少し変わるかも知れませんが、よろしく申し上げます。高齢化が進むなか、交通弱者対策については重要な施策の一つであると考えています。自分で車の運転ができない方や、家族等の送迎が受けられない方、高齢や身体的理由で徒歩や自転車等での移動が困難な方等の交通弱者に対する対応策についてですが、牟岐町の人口密集地域は、山間部等を除き、半径約1kmの範囲内に住宅等が密集しており、病院や公共施設等への移動は、基本的に2km程度の移動距離となることから、交通弱者対策として、現段階では、高齢者タクシー利用助成制度の継続と充実を考えています。しかしながら、今後は、役場庁舎の移転も視野に入れ、バス会社のルート変更や巡回バス方式など、幅広く移動手段等の確保について、地域公共交通会議等で検討してまいりたいと考えています。つぎに、証明書等の自動交付端末についてですが、導入には、機器の整備、本庁舎とのラインの接続、証明書発行の設定業務、セキュリティー対策、機器の維持管理費用等、多額の経費が必要となります。また全国的には自動端末ではなくコンビニ交付への移行が主流となっています。現在、住民福祉課・税務会計課等の窓口による各種証明書の発行については年間6,500件程度ですので、費用対効

果を考えると、現時点では、設置は難しいと考えています。また、ペーパーレス化による行政事務の効率化については、県や関係機関等との業務、また庁舎内各課での業務については、メール等ペーパーレス化が進んでおり、今後とも、経費と効率性を勘案しながら必要に応じ改善してまいりたいと考えています。以上です。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 答弁ありがとうございます。自動交付端末についてですけど、コンビニ、現在牟岐町にも使えると思うのですが、それを使うにしてもマイナンバーがどうしても必要になってくる。他の地域を見ますと、意外とマイナンバーで出されている方も多いうように聞きますが、牟岐町で大きい施設というか、スーパーとかにあったら一番便利かというふうに考えまして、まずマイナンバーの取得を町民にもどんどん、取得というかカードを周知していただきまして、ペーパーレス化、業務効率化等々とか徳島県でも議事録の方、A Iが書面に変えてやっているような活動も行われているようです。もちろん、誤字脱字が多いので、かなり職員の方が直すみたいなのですが、どんどん新しい取り組みが進んでいますので、そちらの方も取り入れていただいて、住民の方に住民サービスが低下しないように、住民の意見に耳を傾ける姿勢を取っていただきたいことを要望としまして、一般質問を終わります。